

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
A I システム科											
海外研修 2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	太田晶*1、小林彰人*2			実務 経験	有	職種	システムエンジニア*1、データサイエンティスト*2				
授業概要											
海外のAI・IoT先進地を視察し、現地の文化に触れることでグローバルな感性を身につけます。											
到達目標											
他文化との交流を通じて自文化を再認識し、異文化に対する適応能力を高める。現地フォーラムなどに参加することで、英語によるコミュニケーション能力を身につけ、最新のICT技術や最先端のテクノロジー情報を収集することができる。また、目まぐるしく変化するITトレンドを実感することで柔軟な思考力とグローバル市場において活躍できる人材となる素養を身につける。											
授業方法											
現地のITの展示会や講演会に参加し、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、英語でのコミュニケーションが取れるように事前学習し、資料にまとめることで効果的な研修とする。研修後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。また、現地日本人学生との異文化交流を通して、異文化を知り、柔軟な適応力を身につける。											
成績評価方法											
授業内容の理解度、実施内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。事前準備の密度も評価に採り入れる。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は最終評価を受けることができない。											
教科書教材											
配布資料											
回数	授業計画										
第1回	事前調査（展示会や講演会のテーマにそった事前知識を調査し、英語での情報を整理することができる）										
第2回	事前調査報告(事前調査によって整理した情報を他者と共有するために説明、発表することができる)										
第3回	展示会・講演会・異文化交流参加（展示会・講演会に参加し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる）										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
A I システム科	
海外研修 2	
第4回	海外研修後報告（研修を振り返り、新たな知識を定着させることができる）
第5回	展示会・講演会結果報告・まとめ（結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる）